

厨房の制帽

この4月、厨房スタッフの制帽が一新されました。アウルの調理長は洋食の分野で長年経験を積んできたのですが、これまでの制帽は和食の板前さんが着用するようなタイプ。調理長の強い希望を受けて、今回洋食スタイルの制帽に変更しました。名門ホテルやフレンチレストランなどでは職位

の高さがコック帽の高さで示されており、制帽は料理人のプライドと実力の証し。写真のにっこり笑顔から調理長の満足感が伝わってきます。

同時に、女性調理スタッフの制帽もリニューアルしました。帽子の中にはネットがあり、髪の毛を入れ込んですっぽり覆える二重構造。おしゃれな見た目と清潔第一の機能性を備えた制帽になりました。ご来館の際には、厨房スタッフの制帽にもご注目ください。



スタッフ リレーエッセー

リハビリとは？

以前働いていた函館の総合病院では、座ったり立ったりが難しい患者様を「どうにかして自宅に帰さなければ!」という気持ちが強く、ときに怖い顔で怒ったり厳しく接したりしました。プレッシャーもあったかもしれません。



理学療法士
明庭 絵美子

そんな働き方をしてきた私。アウルは今までと全く違う環境で正直戸惑うこともありましたが、でも、皆さんと楽しくお話や運動をして、皆さんの笑顔を見ていると私も自然と笑顔に。「リハビリ」とは環境によって異なり、さまざまな形があるのだと今感じています。着任してまだ1カ月程ですが、これからもたくさんの笑顔と出会えるよう働いていきたいと思います。

いやし課見習い補
りりこ & ここな

待て!



▲おやつをお鼻ののせて、
じっとガマンの「りりこ」です。



●介護付有料老人ホーム(一般型特定施設入居者生活介護)
アウルコート真駒内
〒005-0016 札幌市南区真駒内南町4丁目5-3
TEL.011-588-1122 FAX.011-588-1133
入居相談受付中 ☎0120-916-768

交通機関
●地下鉄南北線「真駒内」駅下車
●じょうてつバス「真駒内駅前」停で真駒内線に乗り
(約5分)「南町4丁目」停下車(徒歩約4分)

アウルコート真駒内 検索 <http://www.owlcourt.jp>



ふくろうの家

その30
2014年4月

だより

●発行／株式会社私の青い空

●編集／アウルコート真駒内広報室 〒005-0016 札幌市南区真駒内南町4丁目5-3 ☎011-588-1122



時の流れの速さ

代表取締役 武田 治信

アウルコート真駒内は今年4月に7周年を迎えました。7年といえば、子どもが小学校を卒業し中学生になる期間で、長いようであつという間です。以前もこの欄に記した「時の流れの速さ」を感じます。19世紀のフランスの哲学者ジャネーが発案したジャネーの法則によると、時間の心理的長さは年齢に反比例するようで、5歳の1日は50歳の10日分にあたるとのこと。脳内ホルモンの影響もあるといわれているそうですが、私が年齢とともに時間の速さを感じるのはこんなせいなのかもしれません。

時代背景でも時の移ろいを感じます。先日新聞のコラムで松本清張が1960年に書いた『砂の器』のことが出ていました。本の中で51歳の元巡査の被害者は「すでに五十を過ぎた老人」と書かれているそうです。今より15歳ほど平均寿命が短かったころ、人は50代で晩年に差し掛かるというのが共通のイメージだったのでしょう。そのころは定年も

55歳だったかと思います。今は60歳から65歳へ延長される時代。時の流れでしょう。私よりも少し年上の「団塊の世代」と呼ばれる人たちが学生だったころの全共闘運動、そしてその少し前に中学卒業者が「金の卵」と呼ばれていたことも思い出され、時代背景の違いに時の流れを実感します。

去年の流行語大賞は「今でしょ」「倍返し」「じえじえ」「お・も・て・な・し」でした。初めて4語が年間大賞と発表され、話題に上る言葉が多かったのだなと思いました。80年代初頭の漫才ブームに沸いたときの「赤信号みんなで渡ればこわくない」や、大賞創設後はバブル時代1986年「亭主元気で留守がいい」、バブル絶頂期の1988年「5時から男」、1989年の「24時間戦えますか」等、いろいろな表現が時代を映していました。

アウルの7歳はどのような1年になるのでしょうか。事故のない良い年となりますように。

自宅で過ごす お正月の原点

新年を迎えるアウルコート真駒内。家族や近い人たちとお正月ならではの食事や遊技を楽しみ、ゆったりと流れる時間に年越しの疲れを癒し、新年の無病息災を祈る、昔ながらのお正月風景があふれています。

開設当初はご家族と過ごすため外泊される方が多くいらしたのですが、皆さん齢を重ね、体に負担をかける外出より自宅で過ごすお正月を選ばれる方が増えました。毎日とともに暮らす「家族」として、アウル職員も一緒に年の初めのおめでたい雰囲気を楽しみました。



▲お正月飾りも華やかに



新年を占うおみくじ



行事や食事 歳時で知る季節

年の瀬、館内にお正月飾りを準備し始めるころからお正月ムードは高まってきます。大晦日の夕食には年越しそば。明けて元日の朝食に鯛めし、昼食にはお雑煮と御神酒。嚥下に不安のある方には、白玉だんごに似た飲み込みやすいお餅を召し上がっていただきました。

外出の頻度が少なくなっても、窓辺の風景や館内のインテ

リア、日々の食事などで季節感を感じていただけるよう心を配るアウルの暮らし。お正月もさまざまな工夫を重ね、館内は新年の慶びに満ちていました。



▲食事で実感、行く年来る年

2014年のお正月も ゆったりのんびり 甲馬の初春、アウルの風景



アウルの四季彩々日記

●2013/12/21(土) クリスマスにロックバンド

米国人大学講師とそのお子さんなど5人編成のロックバンドが来館。演奏はリズミカルなサウンドが好評で、その後のティータイムでは国際交流も楽しみました。



●3/15(土) 大学生のマンドリン演奏

藤女子大学マンドリンサークルが演奏会を行い、美空ひばりの楽曲などを演奏。心震える繊細な音色に涙する方も見られ、全観客が絶賛するコンサートとなりました。



●3/14(金) ウクレレサークルが始動

昨年スタートした中村裕先生のウクレレ定期演奏会に刺激を受け、自分たちも弾きたいと3月にサークルを結成。2週に1回のペースでレッスンを受けています。

